

橋下維新

# 逆流の正体

「野田首相はずい。」(毎日)大阪夕刊同10  
確実に『決める政治』を(日付)と指摘されまし  
されている」。大阪市  
の橋下徹市長は7月10日

「あの発言には、もう  
一つの大きな狙いがあ  
る。大阪の政財界に幅  
広い人脈を持つ報道機関  
幹部は、こう解説しま  
しました。

## 発言の狙いは

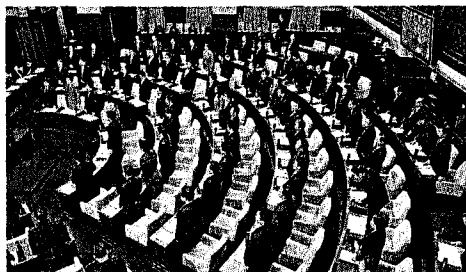
これまでの政権批判の  
姿勢から評価を一転させ  
た真意はなにか。会見で  
は「国会議員で」考え方  
が近い人が再編すること  
を期待する」とも表明。

「将来の政界再編を見据  
え、自民や民主との連携  
も視野に入れた発言」

## 第5部 国政への野望 ①

判が高まった。これを  
払拭して国会を目指すた  
めに『決める政治家』を  
アピールしようともくろ  
んでいる」

この発言から一月ほど  
前の6月15日、消費税増  
税に向けた法案の修正協



大阪府議会は維新、自民、公  
明、みんなの党などの賛成多  
数で職員基本条例案を可決  
3月23日、本会議

議で民主、自民、公明3  
党が合意。全国紙は翌日  
付の社説で『決める政  
治』の一步(毎日)、『  
決められない政治』  
を脱する契機「などと評  
価しました。増税推進の  
大手メディアも『決める  
政治』賛美の大合唱にな  
っているのです。

「日本の政治で一番重  
要なのは独裁」と公言す  
る橋下市長。民主主義と  
は無縁の態度ですが、テ  
レビや新聞の一部は「リ  
ーダーシップがある」  
「決断力が優れている」  
ともてはやしています。

## 民意とは無縁

しかし肝心なのは「決  
める政治」の中身です。

橋下市長が持ち上げた野  
老パス問題などで地元の  
支持者に苦情をいわれ  
ることが増えて頭が痛  
い、首相自身が「国論が  
二分している」と認めざ  
るをえない状況です。

大阪で橋下市長が推し  
進めていることも同様で  
す。教育基本条例、職員  
基本条例、大阪市職員の  
政治活動禁止条例など民  
主主義を踏みにする恐怖  
政治。市営地下鉄・バス  
の敬老パス一部有料化な  
ど福祉や暮らしの切り捨  
て…。すべてが庶民いじ  
めの施策ばかりです。

橋下市長が率いる大阪  
維新の会のある議員も  
本音をもらします。「わ  
れわれは橋下さんの政治  
家としての決断力に魅力  
を感じてついでにいた。  
いまでも統率力はずがい  
と思っている。しかし施  
策をすすめるたびに、敬

# 「決める政治」を礼賛

策をすすめるたびに、敬

(つづく)